

みんなの鳥獣対策

令和4年度に小野田地区では、人が管理できず、サルをはじめとした動物を引き寄せる果樹を選定し、伐採しました。その伐採前後の状況を踏まえ、小野田行政区長の植田勝明さんからお話を伺いました。



町内で目撃されたサル

Q 果樹伐採の前後でどのような変化を感じましたか。

以前と比べればサルの目撃は減っていると感じます。ただし、サルは賢いです。一度食べ物のある場所を覚えたら、伐採後も様子を見に来ます。

伐採後は一旦サルを見かけなくなりますが、放っておくと戻ってきます。

Q 伐採果樹を選ぶ際にどのような点に注意しましたか？

日当たりが良く、風が当たらない場所がサルが集まりやすいと感じます。伐採する際は、こうした場所を優先的に選定しました。

また、伐採後に畑の野菜へ被害が移る可能性がある中で、周辺の作物も守るための自衛策を組み合わせることが大切です。

組み合わせが
大切

伐採し減らす・畑を囲う・追い払う

サルの被害減らすには

Q 果樹を伐採するだけでは問題解決にはならないということですね。
どのような自衛策を併用すべきだとお考えですか？

まずは、伐採と併せて柵やネットを使って畑を守ることが大切です。加えて、見つけたら追い払うことも重要です。見つけて何もしない人に慣れてしまいます。また、餌付けを防ぐための啓発も必要ですね。

実際に見たことがあるのですが、通りすがりの人でサルに食べ物を与える人がいました。それが原因でサルが人を恐れなくなり、被害が増えることもあると考えます。

Q 花火などの追い払い道具も使っていると聞きました。効果はどのように感じていますか？

花火は有効ですよ。役場の花火は大きな音があるので、鳴らすと一時的に逃げます。

ただし、同じ場所でも何度も花火を使っていると、サルが音に慣れてしまい、徐々に効果が薄れてきます。追い払うためには、使った後に追いかける必要があります。

何度か追い払えば、顔を覚えられ

て、花火を打つ前にサルが逃げていくようになります。役場で花火を配布しているので、必要があればそれを活用するといいですね。

Q 新しく地区に移住してきた人にアドバイスはありますか？

サルは賢いので、まずは食べ物やゴミを外に出さないようにすることが基本です。

サルが現れたら、見かけ次第すぐに追い払うのが大切です。

サルとの共存が求められる場所なので、彼らの行動を理解しながら、生活を工夫していくことが必要です。

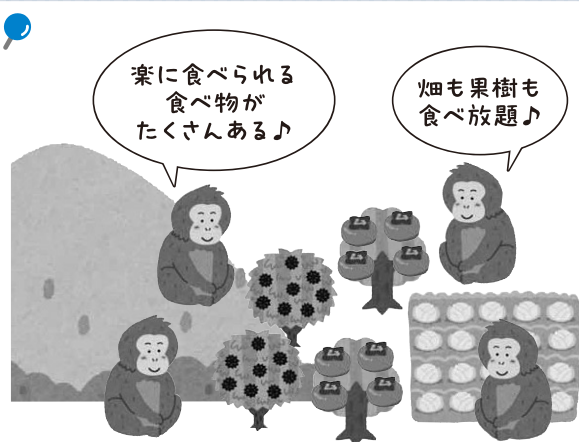
鳥獣被害のご相談は
ウェブからでもできます



連絡用
フォーム

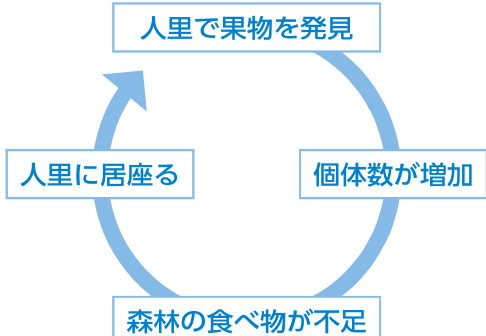


被害状況
確認フォーム



花火でサルを追い払う様子

被害拡大の悪循環



なぜサルは人里で増える？

サルが人里で被害を増やす理由

- 山で手に入れるエサよりも、人里の果樹や野菜は栄養価が高い
- 栄養を得ることで毎年出産できるようになり、個体数が増える。出生1年以内の死亡率も50%→20%に低下する
- 人里に停滞する群れは人に慣れ、より簡単に多くのエサを確保できる場所を選ぶ

追い払い花火配布中



農林水産係では追い払い花火を無償で配布しています。また、初めての人向けに年1回、講習会も実施しています。講習会以外でも、個別対応できますので、追い払いをしたい人は農林水産課までご連絡ください。
※追い払い花火の使用にあたり同意書の記入をしていただきます。

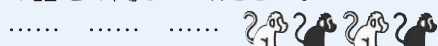
枝打ちも効果○

果実部分がなければ、サルはよってこなくなります。枝打ちと果実の撤去のみでもサル対策は可能です。実際に実施した人によると、目撃がなくなり、また登られて枝を折られる心配もなくなったそうです。



町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話を聞かせてください。



問 農林水産課農林水産係
TEL 0240 (34) 0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページでもご覧いただけます